

URA職の定着に向けた取り組み

実施しているURA業務

1. URA活動の学内外への周知と啓発

- ◆大阪大学URAシンポジウムの開催（2013年8月28日）
- ◆メールマガジンの発刊（2013年10月より毎月1回）
  - ・送付先：他機関 200、学内 300
  - ・ホームページへの掲載、記事閲覧：11号までに約7,000件
- ◆活動内容と経験知の他機関への紹介
  - ・出張講演や情報交換を通じて
- ◆第3回URAシンポジウムの開催（2013年11月18日、19日）
  - ・URA事業採択16校の幹事校の役割

2. URAの研修・教育プログラム

- ◆URA整備事業の中の早稲田大学の研修・教育プログラム（初級）の試行を受講。産学連携とアウトリーチの科目を担当。上級向けプログラム作成に協力
- ◆URAの研修
  - ・事務職員研修（研究内容、研究倫理等）の受講
  - ・科学技術政策セミナー等、講師を招いて、研修
  - ・学外のシンポジウム等に参加して、知識とスキルの習得

3. URAキャリアパスの検討

- ◆第3の職種の検討
  - ・職階（案）：主任、主幹、上席を加えた4階級
  - ・雇用（案）：期間の定めのない評価連動型年俸制

4. URA個人評価の試行

- ◆年間業務目標の設定、自己評価、面談による評価システム

1. 研究戦略立案のための情報収集と解析

- ◆研究の強みの発見、研究戦略の企画支援
  - ◆人文・社会系支援に関する国内外の調査
2. 全学的プロジェクトに対する支援
- ◆体制作り、申請書作成、ヒアリング準備、採択後の立上げ等
    - ・博士課程教育リーディングプログラム
    - ・研究大学強化促進事業
3. 研究プロジェクト等に対する支援
- ◆競争的資金公募情報の収集、学内への周知
  - ◆大型科研費、CREST、さきがけ、ALCA、学振特別研究員等の応募支援
    - ・応募書類の内容チェックとアドバイス
    - ・模擬ヒアリング、模擬面接
4. 国際対応のURA業務
- ◆国際共同シンポジウムの開催支援
  - ◆国際共同研究の企画支援
  - ◆外国人研究者への英語による情報提供
5. リサーチ・アドミニストレーションの全学展開
- ◆部局配置のURA(類似職)との情報交換
  - ◆セミナー等によるFD、SD活動
  - ◆アウトリーチ活動の普及のための指導

22世紀に輝く

調和ある多様性の創造

教職協働・学内ネットワークに基づく多彩な活動展開

